

回 覧

防災講話会報告(2020年[令和2年]6月)

天嶽院下自治会

日 時 : 2020年[令和2年]6月27日(土) 10時00分~11時30分
場 所 : 村岡市民の家
出席者 : 会長・役員・会員 出席者数 : 15名

今年度の防災懇話会は講師を呼ばず、会長の講話を通じて、地域の防災について考える機会を提供する場として開催しました。

*出席者はマスク着用と手指消毒、さらに体温測定を行い、会場は3密回避と換気に注意して開催しました。

<講和概要>

① 映像で災害を体験しよう！(風水害編)の視聴

神奈川県制作の災害対策に関する普及啓発映像を視聴しました。このシリーズには、風水害編・津波編・火山編とありますが、時間の都合で風水害編を取り上げました。

・「災害 その時を生きのびるために～風水害編～」

<https://www.youtube.com/watch?v=N-kYjtMAWz8>

②村岡地区の防災について

- 村岡地区の地形から見た防災上の特徴
 - ・南北で高低差があり、境川や柏尾川と東海道線が通っていて橋や地下道が多い
- 災害はいつ起きるかわかりません(特に地震)
 - ・地震が起きたときに、まず自分の身を守ることが大切
 - ・地震が治まった後の安否確認、避難(必要な場合)を行ってください
- 大雨、台風への備えが大切
 - ・大雨や台風の情報に注意してください
 - ・洪水ハザードマップ、防災マップで身の回りで想定される被害を知っておく
 - ・高齢者等の居る世帯は、「警戒レベル3」で早めの避難をしましょう
→避難は明るいうち、また雨量が少ないうちに行いましょう。避難施設への移動が危険な場合もあり、自宅避難も含めて身を守ってください

③天嶽院下自治会の自主防災について

- 天嶽院下自治会の取り組み
 - ・一時避難場所：御幣下公園
 - ・タオルによる安否確認
 - ・自治会独自の防災訓練の実施

- ・隣近所との日頃からのコミュニケーションの呼びかけ
- ・防災倉庫設置：各世帯でも防災備蓄品や非常持出品の備えましょう

●村岡地域全体での取り組み

- ・自治町内会連合会と防災部長による合同会議を開催
- ・村岡地区総合防災訓練(11月、当自治会の避難施設は、藤が岡中学校)
- ・村岡地区防災マップの作成、配布
- ・デジタル無線機の配備(会長宅に1台設置)
- ・「防災むらおか」の配布/電柱への海拔表示等の防災情報発信
- ・回覧板への防災情報の表示(一時避難場所、避難施設、水害避難所の明記)
- ・防災講習会の開催(年1回)
- ・防災リーダー育成のための講習会を開催(7月)：令和2年度は“中止”
- ・防災視察研修会の開催(9月)：令和2年度は“中止”
- ・災害ボランティアコーディネーター養成講座(入門編、初級編)の開催
- ・ソーラーLED照明を村岡地域内の公園に設置
- ・防災品の備蓄(各避難施設にて)

④配布資料説明

- ・「天嶽院下自治会・自主防災会」活動概要
- ・令和2年度「自主防災活動」年間計画より
自治会独自の防災訓練7/18、村岡地区防災訓練11/14など実施予定

<主な質疑、意見>

- (1) 一時避難場所への避難やタオルかけについての基準を明確にしたらどうか。
→(会長) 災害の状況によって難しいケースがあり、基準を明示できていないのが実情です。いづれにしても、住民の身の安全が最優先であり、安否確認は重要です。その観点から検討していきたい。
- (2) コロナの状況における避難について。自宅避難が推奨されているが。
→(会長) この状況での避難施設の考え方は未だまとまっていない。例えば2mの間隔(ソーシャルディスタンス)を考慮した場合の受入れ可能な人数を考えると、自宅での避難生活の備えも必要です。
- (3) 災害時の情報提供、食糧提供はどうなるのか。
→(会長) 防災拠点本部の設置や、避難施設の開所等の情報は、村岡公民館を通じて自治会長宛てに届きます。
会長から組長、班長経由で各会員世帯に伝達します。
物資は会員世帯分が避難施設毎に配給され、各自治会で取りに行くこととなります。
- (4) ペットの受け入れは可能か。
→(会長) ペットゲージを持参されれば受入れ可能(藤が岡中学校の場合)と考えています。ただしそのペットゲージの置き場所については、基本的に教室は使えないと思ってください。

以上